



「宝塚の巡礼街道」散策の記録

担当：Cグループ

案内：荘村

記録：権野・荘村

1. 日時： 令和7年1月23日(木)10時30分
2. 集合場所： 阪急宝塚線 山本駅
3. 参加者： 22名（お試し参加の方1名を含めて。）
4. 行程： 阪急山本駅(10:35スタート)～木接太夫彰徳碑～松尾神社～天満神社～中山寺(昼食)～中山荘園古墳～宝塚黙想の家～売布神社～阪急清荒神駅(15:20解散)

この例会は冬本番の暦日にもかかわらず、3月中頃の温かい陽気の中での活動になりました。阪急山本駅を出てすぐの所に木接太夫彰徳碑があり、そこでボランティアガイドさんから巡礼街道及び園芸のまち山本の成り立ち等概略説明を聴きました。この巡礼街道にはいろんな道標が残っており、それらを探しながら歩くのも楽しいですとのこと。街道を歩き最初に出会うのは後ろに大きな社叢が広がる松尾神社です。この神社は平安中期よりこの地を開き治めてきた「坂上党武士団」の氏神さんであり、彼等の祖先である坂上田村麻呂を祀っている。



木接太夫彰徳碑



松尾神社



行基の投げ石

次に出会った神社は学問の神様菅原道真を祭っている天満神社で、ここも後ろに大きな社叢が広がっていました。この森の中に石室を伴う古墳が点在しているそうです。「行基の投げ石」はその1つを拝借したものではないかと……。ここを出て時間がおしていたので少し足早に中山寺へ向かいました。正午過ぎに巡礼街道に面して建つ中山寺の大きな山門に到着する。この山門の特徴は表面には阿形・吽形の仁王像があり、裏面には獅子・



中山寺の山門



五重塔をバックに集合写真



五重塔の青龍の扁額

狛犬を祀る神仏習合の形になっていることです。そのあと本堂をはじめ境内の重要な堂塔伽藍を巡りましたが、一番印象に残ったのは「青龍」と呼ばれる青色が陽の光に映えていた五重塔です。そのあと2人のガイドさんと別れ境内にある食堂で昼食をとり五重塔をバックに集合写真を撮りました。それから梅林公園の開花前の梅の蕾を遠目に見ながら中山寺を後にし、昼からはガイドさんの案内なしで巡礼街道を自由に散策しました。

市杵島姫神社を経由して中山荘園古墳へ向かいました。この古墳はマンション開発の事前調査で見つかり、珍し



中山荘園古墳の説明板を見入る



宝塚黙想の家入口のキリスト像



売布神社本殿前の賣布社の社号石

い八角形の古墳で国の史跡に指定されています。次の売布神社へのルートの途中にある宝塚黙想の家に立ち寄りました。ここはカトリックの修道院で入口の白いキリスト像が両手をひろげあらゆる人を招き入れているように見えました。今日最後の見学地の売布神社は長い階段の上にあり、本殿の前に社号石がぽつんと寂しく立っていました。この後は巡礼街道の道標を目印に一路、清荒神駅を目指して歩き、予定通り全員無事に阪急清荒神駅に15:20頃到着し解散しました。

今回は宝塚巡礼街道のフルコース(山本駅～清荒神駅)を歩いたので、少々足にはきつかったですが、往時の街道の雰囲気を感じていただけたかと思います。